

帳票定義の作成

2023年2月21日

改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2012/10/26	--	--	初版を発行しました。
2013/3/21	V2.3	--	[この定義の履歴から最新版を作成する]ボタンを追加。
		--	帳票完了時、編集時のファイル出力設定を追加。
2013/4/23	V3.0	--	「タブレットでの帳票保存」設定を追加。
		--	クラスターの固定モードを追加。
2013/8/19	V3.1	--	FreeDrawにてPICKした画像のサイズ設定を追加
		--	FreeDrawにて使用した個別画像のサーバー送付設定を追加
		--	帳票定義の一時保存機能を追加。
		--	帳票定義のローカル保存機能を追加。
2013/11/29	V3.1機能強化版	--	タブレットからの帳票画像・PDFファイルメール送信機能のON・OFF設定追加
		--	タブレット上で帳票PDFを他のアプリで開く機能のON・OFF設定追加
		--	FreeDrawにてPICKした画像のサイズ設定の変更
		--	帳票同時編集設定の追加
		--	帳票のEXCELファイル出力機能の使用設定の追加
2014/1/31	V3.2	--	タブレットからの帳票画像・PDFのメール送信OK,NGの設定を追加。
		--	カメラで撮影した画像のカメラロールへの保存OK,NGの設定を追加。
		--	編集モードに以下を追加。 <ul style="list-style-type: none"> • 帳票コピー時移動設定 帳票をコピーする時のクラスター間の値の移動を設定します。 • QR分解設定 QRコードを他のクラスターに分解して入力する設定を行います。

改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2014/3/6	V3.2	--	サーバーへ保存した帳票をタブレット内に保管する設定を追加。
		--	タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスターのインプット部品を自動表示する設定を追加。
2014/4/18	V4.0	--	帳票コピー機能を使用する設定を追加。
2014/5/20	V4.1	--	iPhoneでの入力設定を追加。
		--	クラスター名称変換設定を追加。
2014/6/30	V4.2	--	クラスター履歴の設定を追加。
		--	申請ロック機能の設定を追加。
2014/9/19	V4.2 強化版	--	自分が入力した情報を他のユーザーが編集できなくする設定を追加。
		--	携帯用テーブルの作成（Motion Board、Dr.Sum連携）にクラスター単位の設定を追加。
		--	シート情報画面からEXCELファイルのシート名称変更に関する説明を追加。
2015/6/16	V5.0 強化版	--	一度編集保存されたクラスターを再編集不可にする設定に関して追記。
	V5.0 強化版	--	帳票備考/システムキーへのクラスター値コピーの設定方法に関して追記。
2015/12/2	--	--	レイアウト等を調整。
2016/1/12	V5.1.6172	--	記入不要マークの表示設定を追加。
2016/1/15	--	--	取り込めるPDFバージョンの注意について追記。
2016/3/15	V5.1.6427	--	FreeDraw全体の画像の解像度設定を追加。
		--	FreeDrawにて使用した個別画像のサーバー送信設定の名称を「FreeDraw内に貼り付けた個別画像のサーバー送信設定」に変更。
		--	FreeDrawにてPICKした画像のサイズ設定の名称を「FreeDraw内に貼り付けた個別画像の解像度設定」に変更。
2016/8/3	V5.2.16072	--	帳票コピー方法の設定とタブレットでの動作説明を追加。
2016/10/28	V5.2.16100	--	クラスター値をクリアした場合の帳票備考/システムキーの動作説明を追加。
2017/7/10	V6.0.17060	--	フリードローの最小サイズ制限を追加。

改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2017/7/10	V6.0.17070	--	完了保存以外の保存処理での必須チェックを追加。
2017/12/11	V6.0.17101	--	対応アプリ追加。
2018/6/4	V6.0.18050	54-56	クラスター備考一覧について追加。
2018/8/1	V6.1.18070	8 9 35	xls形式のEXCELファイルをxlsx形式に変換して取込む設定を追加。 EXCEL取込み時のクラスターindexの振り直し確認画面表示する・しない設定を追加。 クラスターの移動順（音声入力のみ有効）設定を追加。
2018/09/27	V6.2.18080	20	「帳票の印刷時に必須チェックを行う」設定を追加。
2019/01/07	V6.2.18120	18	「サーバー送信メニューの表示」設定を追記。
2019/03/04	V6.2.19020	36	「音声入力終了の判定時間」設定を追記。
2019/04/10	Windows版 v.4.1.19030	19	完了保存以外の保存処理での必須チェックを追加のため、iOS版のみの記載を削除。
2019/05/23	--	7	定義のシート上限数を追記。
2019/08/01	--	58	「配置」「移動」ボタンの説明を追記。
2019/12/02	V6.3.19110	8	「EXCELのCOM参照を使用してEXCELファイルを取込む」モードの説明を追記。
2020/5/7	V7.1.20050	60-62	表の確認画面の説明を追記。
2020/07/15	V7.2.20070	19	「サーバー送信メニューの表示」設定がWindows版でも対応になったため、iOS版のみ対応の旨の記載を削除。
2020/08/19	V7.3.20080	12	「帳票起票時に生体認証を求める」設定を追記。iOS版アプリ限定機能。
2020/09/18	V7.3.20090	51	テスト公開定義の利用目的について追加。
2021/05/18	V8.0.21050	36	クラスターの入力値クリアした際にクリアできる項目からシステムキーを削除。
		41	クラスター単位の連携用テーブル作成対象設定に連携クラスター数の目安を追記。
		47	同時編集した帳票の保存に推奨設定を追記
2021/07/27	V8.0.21070	39	録音クラスターのデータ形式設定を追記

改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2021/10/27	V8.0.21100	24	文字サイズの自動調整モードを追加。
		42	ネットワークの後続移動後にアンサーバックを行う設定を追加。
2022/02/21	V8.0.22020	34	記入不要マークに「ハイフン(半角)」を追加。
2022/12/14	V8.1.22120	50-51	「作成した帳票を同時編集可能にする。」設定の名称を「作成した帳票を排他ロック」に変更しました。
2023/4/19	V8.1.23040	43-44	帳票完了時・編集時のファイルの自動出力に関して、設定を追加し、一部文言を変更。
2023/2/21	V8.1.24020	31,32	「フリードローの最小サイズ制限」「FreeDraw内に貼り付けた個別画像の解像度」の設定名称に「iOS版アプリでのみ有効」である事を表記。

目次

- 帳票定義を作成する
- 定義の元のデータの取り込み
- EXCELのCOM参照を使用してEXCELファイルを取込む
- xls形式のEXCELファイルをxlsx形式に変換して取込む
- EXCEL取込み時のクラスターindexの振り直し確認画面表示
- サーバーへ保存した帳票をタブレット内に保管する
- 帳票起票時に生体認証を求める
- 帳票定義名称、帳票名称の設定
- iPhoneでの入力
- タブレットでの帳票名称の編集可否
- タブレットでの帳票定義保存・帳票保存
- タブレットからの帳票画像・PDFのメール送信
- タブレット上で帳票PDFを他のアプリで開く
- タブレットでの帳票保持期間
- サーバー送信メニューの表示
- 完了保存以外の保存処理での必須チェック
- 帳票の印刷時に必須チェックを行う
- 文字サイズの自動調整モード
- 申請ロック機能の設定
- 自分が入力した情報を他のユーザーが編集できなくする
- 後続クラスターのインプット部品を自動表示
- クラスター履歴の設定
- FreeDraw内に貼り付けた個別画像のサーバー送信設定
- FreeDraw全体の画像の解像度設定
- FreeDraw内に貼り付けた個別画像の解像度設定
- カメラで撮影した画像のカメラロールへの保存
- 帳票備考情報の設定、タブレットで備考情報の編集可否
- 帳票備考/システムキーへのクラスター値コピー
- 帳票備考/システムキーへのクラスター値コピーの設定方法
- クラスター値をクリアした場合の帳票備考/システムキー
- クラスターの移動順（音声入力のみ有効）
- 音声入力終了の判定時間
- ネットワークの後続移動後にアンサーバックを行う
- 帳票完了時・編集時のファイルの自動出力
- 連携用テーブルの作成（Motion Board、Dr.Sum連携）
- クラスター単位の連携用テーブル作成対象設定
- 帳票コピー機能を使用する
- 帳票コピー方法
- 作成した帳票を排他ロック
- 排他ロックしない帳票の保存
- 一度編集保存されたクラスターを再編集不可にする
- 外部システム連携
- Designer編集画面への切替
- Designer編集画面のメインメニュー
- 帳票定義の一時保存
- 帳票定義xmlファイルのローカル保存
- 帳票定義xmlファイルの取込
- 帳票編集エリア、クラスター一覧表示エリア
- クラスター備考一覧
- クラスター備考一覧へのペースト
- クラスター備考一覧上でのクラスター備考クリア
- シート一覧 プレビュー表示
- 編集モードの設定
- 編集モードの設定
- シート情報の設定
- シート情報画面からEXCELファイルのシート名称変更
- 帳票定義をコピーする

帳票定義を作成する

- メニューから、[帳票定義を作成する]をクリックします。
- 左に帳票定義リスト、右側に帳票定義情報設定が表示されます。

The screenshot displays the ConMas Designer application window. The top menu bar includes options like '帳票定義を作成する', '帳票定義を編集する', '帳票定義をコピーする', and '帳票定義.xmlファイルを取込む'. The left sidebar contains a '帳票定義を作成する' button. The main area is split into two panes. The left pane, titled '帳票定義リスト', shows a table of existing definitions with columns for '定義名称', '定義ID', and '定義備考'. The right pane, titled '帳票定義情報設定', contains various configuration options for a new definition, such as '帳票定義名称', '帳票名称自動作成設定', and '保存の度に帳票名を変更'.

定義名称	定義ID	定義備考
#10356-コピー先編集可能カーボンコピー	ID=913_2017-12-13 10:57:05.158237, Rev.1	
画像撮影日 test	ID=244_2017-12-12 14:36:19.97765, Rev.2	
URLスキームクラスター入力	ID=204_2017-12-12 11:37:39.631423, Rev.1	
機能設定サンプル	ID=196_2017-12-12 10:54:53.949744, Rev.1	
バックアップ負荷テスト	ID=109_番号1_2017-12-11 13:33:52.919235, Rev.1	

帳票定義プレビュー	
帳票定義ID	12224
タイトル	(iga_test)全インプットサンプルcig
クラスター数	171
作成時刻	2019/11/26 14:46:03
最終更新時刻	2019/11/26 14:46:03
リビジョン番号	9

定義の元データの取り込み

定義の元データの取り込み

画像ファイルから作成する	EXCELファイルから作成する	<input type="checkbox"/> EXCELのCOM参照を使用してEXCELファイルを取込む
PDF, TIFF, GIFファイルから作成する	この定義の履歴から最新版を作成する	キャンセル

- 画像ファイルから作成する
JPEG/PNG/GIF/TIFF/BMPなどの画像ファイルを取り込みます。
- PDF, TIFF, GIFファイルから作成する (*)
複数のページを持ったPDFやマルチページTIFFを取り込みます。
- EXCELファイルから作成する
クラスター情報を追加したEXCELファイルを取り込みます。
- この定義の履歴から最新版を作成する
現在編集中の帳票定義の履歴一覧を表示します。履歴一覧から最新版としていいリビジョンを選択すると、その帳票定義の最新版として編集ができます。

Excelファイル取込について

Excelで帳票定義用のファイルを作成することで下記のメリットがあります。

- 画像から作成するのに比べて、クラスター枠の作成作業が不要となり、ファイルサイズも小さくなります。
- アプリで入力した帳票データを反映したExcelファイルを出力することができます。
- Designerで設定した定義情報を持ったExcel定義ファイルを出し、Excel上でクラスターの追加や背景の修正を行うことができます。詳細はDesignerマニュアル「帳票定義 Excel ファイルの取り込み」を参照してください。

※ PDFのバージョンは 1.4 以上に対応しています。PDFのバージョンは、Adobe Reader などPDFを開き、ファイルメニューの「プロパティ」→「概要」タブの詳細情報「PDFのバージョン」をご確認ください。

※ 定義のシート上限は50シートです。

EXCELのCOM参照を使用してEXCELファイルを取込む

EXCELのCOM参照を使用してEXCELファイルを取込む

画像ファイルから作成する	EXCELファイルから作成する	<input checked="" type="checkbox"/> EXCELのCOM参照を使用してEXCELファイルを取込む
PDF/TIFF/GIFファイルから作成する	この定義の履歴から最新版を作成する	キャンセル

- 「EXCELのCOM参照を使用してEXCELファイルを取込む」のチェックをオンにした状態で「EXCELファイルから作成する」を実行することで、EXCELのCOM参照を使用してEXCELファイルを取込みます。COM参照を使用することで、正常に取り込めなかった背景文字列やオブジェクトが取り込めるようになる可能性があります。
- 「EXCELのCOM参照を使用してEXCELファイルを取込む」のチェックをオフにした状態で「EXCELファイルから作成する」を実行した場合は、COM参照を使用せずにEXCELファイル取込みします。
- 本チェックをオンにした状態で正常にEXCELファイル取込みができない場合は、本チェックをオフにした状態でEXCELファイル取込みをお試し下さい。

また、本チェックのオン/オフにより、下記の過去のDesignerバージョンと同じEXCELファイル取込み仕様になります。

- チェックをオフにした状態 → V6.2.19070以前と同じ仕様でEXCELファイル取込み
- チェックをオンにした状態 → V6.2.19080以降と同じ仕様でEXCELファイル取込み

※本チェックのオン/オフによって、機能や不具合状況が当時のバージョンにダウングレードすることはありません。取込み方式の違いのみであり、オン/オフの状況に限らず機能そのものは最新の状態でご利用頂けます。

xls形式のEXCELファイルをxlsx形式に変換して取込む

xls形式のEXCELファイルをxlsx形式に変換して取込む

xls形式のEXCELファイルをxlsx形式に変換して取込む

する

しない

xls形式のEXCELファイルをxlsx形式に変換したうえで取込みを行います。
マクロが含まれるxls形式のEXCELファイルの場合、マクロを削除する旨の警告メッセージが表示されます。マクロを削除しない場合はエラーとなりEXCEL取込み処理が中断されますのでご注意ください。

EXCEL取込み時のクラスターindexの振り直し確認画面表示

EXCEL取込み時のクラスターindexの振り直し確認画面表示

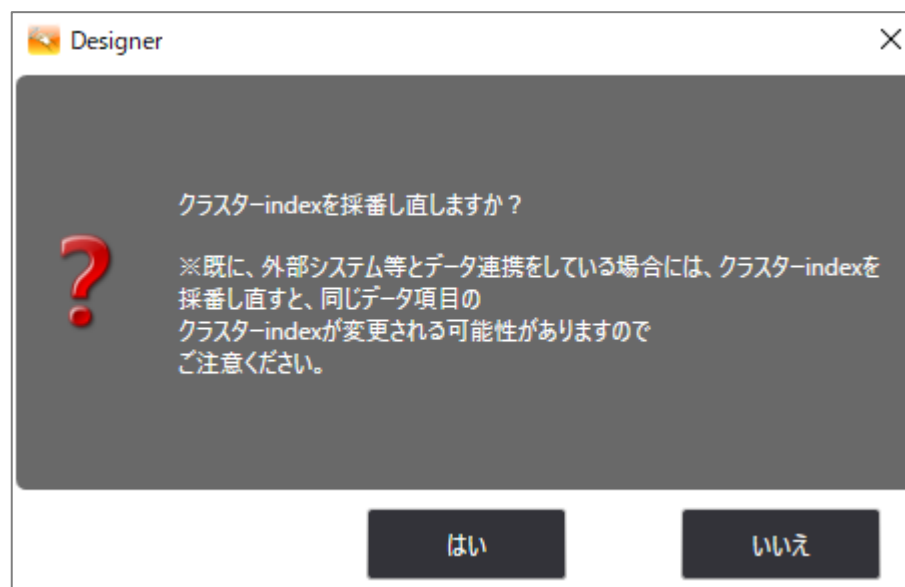
EXCEL取込み時のクラスターindexの振り直し確認画面表示

する

しない

「する」にチェックを入れた状態でEXCEL取込みを行った場合、下記の様なクラスターindexの振り直しを行うかどうかの確認画面が表示されます。

「しない」にチェックを入れた状態でEXCEL取込みを行った場合、確認画面は表示されず、クラスターindexの振り直しは行われません。このため、EXCELファイル上でクラスターindexに重複があった場合は取込みエラーとなりますのでご注意ください。



サーバーへ保存した帳票をタブレット内に保管する

サーバーへ保存した帳票をタブレット内に保管する

サーバーへ保存した帳票をタブレット内に保管する

保管せずに削除する

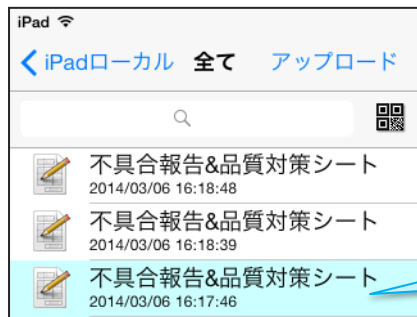
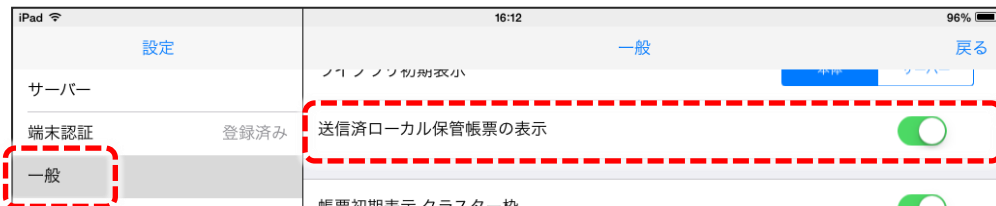
保管する

「保管する」を選択すると、iOSアプリからサーバーに保存した帳票を自動削除せずに保管します。

※ 保管する場合は、iOSアプリ内で保管しておいた帳票を定期的に手動で削除する必要があります。

iOSアプリでの保管帳票の表示方法

- ConMasの設定画面から「一般」→「送信済ローカル保管帳票の表示」をオンにして頂くことで、ローカルに保管された帳票を表示することができます。



保管帳票を表示すると、ローカル帳票一覧にハイライトで表示されます。

帳票起票時に生体認証を求める

帳票起票時に生体認証を求める

帳票起票時に生体認証を求める

しない

する

帳票を起票する際に生体認証を求めます。
詳細は別途、生体認証機能のマニュアルを参照下さい。

※ iOS版アプリ限定の機能です。

帳票定義名称、帳票名称の設定

帳票定義名称、帳票名称の設定

帳票定義名称 [ID:7433]

全クラスター インプットサンプル

帳票名称自動作成設定

全クラスター インプットサンプル_201812251740

レビュー

設定

保存の度に帳票名を変更

保存の度に帳票名を変更

しない

する

帳票定義の名称および、定義から作成される帳票の名称を設定します。
帳票名称は条件を設定して自動でリネームさせることもできます。

iPhoneでの入力

iPhoneでの入力

iPhoneでの入力

iPhoneで選択 帳票形式 リスト形式

iPhoneで帳票編集を行う際の編集形式を指定します。

帳票形式

iPadと同様に帳票のレイアウト上で編集を行います。

ConMas i-Reporter 不具合報告・品質対策シート

作成日	2014年06月23日(月)	部署名	作成者
製造工場	第二工場	図面NO.	リスト
製造品名	通気機	製造品名	

不具合内容

発生日時: 発生年月日 発生時刻 発生場所 不具合内容

Lot#	発生年月日	発生時刻	発生場所	不具合内容

検査結果

Serial#	発生年月日	発生時刻	発生場所	OK数	NG数

合計

OK数	NG数	合計

リスト形式

クラスターの一覧をリスト化し編集を行います。

作成日

2014年06月23日(月)

部署名

加工グループ

作成者

製造工場

図面NO.

完了

iPhoneで選択

iPhone上で「帳票形式」、「リスト形式」を選択します。

TEST

この定義から帳票を作成する

保存

帳票形式

リスト形式

キャンセル

タブレットでの帳票名称の編集可否

タブレットでの帳票名称の編集可否

タブレットでの帳票名編集可否

編集不可

編集可能

i-Reporterアプリ上で、帳票名称の編集を許可するかどうかの設定です。
[編集不可]の場合、名称の参照はできますが編集はできません。

タブレットでの帳票定義保存・帳票保存

タブレットでの帳票定義保存

タブレットでの帳票定義保存

残さない

残す

タブレットへの「帳票定義」の保存を許可するかどうかの設定です。
オフラインで新規帳票の作成をする場合は[残す]で許可します。

タブレットでの帳票保存

タブレットでの帳票保存

残さない

残す

タブレットのローカルストレージへ帳票を一時保存する場合は[残す]で許可します。
タブレットのローカルストレージへ帳票を一切保存させたくない場合には[残さない]を選択します。

タブレットからの帳票画像・PDFのメール送信

タブレットからの帳票画像・PDFのメール送信

タブレットからの帳票画像・PDFのメール送信

許可しない

許可する

許可しないに設定した場合、タブレットの保存メニューにある「画像をメール送信」「PDFをメール送信」が使用不可になります。デフォルトは「許可する」です。

タブレット上で帳票PDFを他のアプリで開く

タブレット上で帳票PDFを他のアプリで開く

□タブレット上で帳票PDFを他のアプリで開く

許可しない

許可する

許可しないに設定した場合、タブレットの保存メニューにある「PDFで開く」が使用不可になります。デフォルトは「許可しない」です。

タブレットでの帳票保持期間

タブレットでの帳票保持期間

□タブレットでの帳票保持期間

□ 日 □ 時間 □ 分

タブレット上に編集中の「帳票」を保存しておける期間を指定します。この期間は、タブレット上にデータが置かれてからの期間となります。

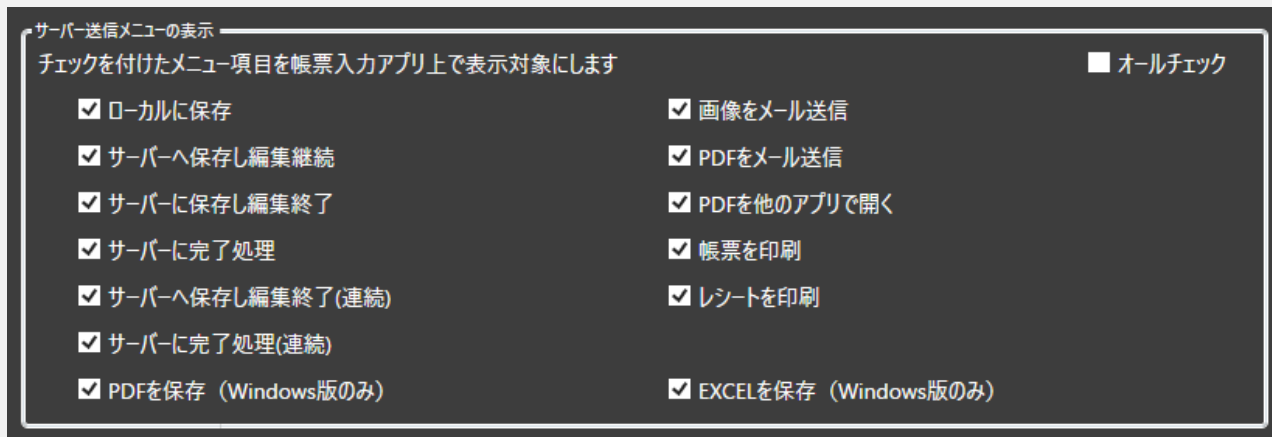
サーバーへ保存すればタブレットからはデータが消えるので経過時間はリセットされ、あらたに取得するとまた0からスタートします。

この期間を超えてタブレット上に保持していた場合、警告なく削除されます。

※サーバーにある該当帳票のデータは削除されません。

サーバー送信メニューの表示

サーバー送信メニューの表示



タブレット上のサーバー送信メニューの各項目について「表示する/しない」を設定することができます。チェックを付けた項目はサーバー送信メニューに表示され、チェックを外した項目は表示されなくなります。また、「オールチェック」をon/offすることで各項目のチェックを一括してon/offすることが可能です。

(注意)

「表示する」設定にしても、サーバー送信メニューに表示されるための条件を満たしていない項目は表示されません。「表示しない」設定にしている場合は、サーバー送信メニューに表示されるための条件を満たしていても項目は表示されません。本設定は、サーバー送信メニュー内での表示を制御する設定であり、アクションクラスター等での機能動作は制御されません。

(例) 「レシートを印刷」にチェックを付けていても、モバイルプリンター用の設定が行われていない帳票定義の場合、サーバー送信メニューに「レシートを印刷」は表示されません。

サーバー送信メニュー内の全ての項目が非表示となる場合、自動的にタブレット上のアイコンがグレイアウトされタップできなくなります。



完了保存以外の保存処理での必須チェック

完了保存以外の保存処理でも必須チェックを行う

完了保存以外の保存処理でも必須チェックを行う

完了保存のみ

全ての保存処理

「全ての保存処理」を選択することで、完了保存以外の保存処理でも必須チェック処理が行われるようになります。「完了保存のみ」を選択すると既存通りの動作となります。

必須項目未入力時の保存（完了保存以外）

必須項目未入力時の保存（完了保存以外）

警告を表示して保存可能

保存不可

「完了保存以外の保存処理でも必須チェックを行う」にて「全ての保存処理」を選択することで、本設定を行うことが可能となります。「警告を表示して保存可能」を選択した場合、必須項目が未入力状態でも保存を続行するかどうかの確認メッセージが表示されます。「保存不可」を選択した場合、必須項目が全て入力されない限り保存処理を行えないようにします。

「警告を表示して保存可能」を選択した場合

入力チェック
入力が必要な項目があります。
このまま保存しますか？

「保存不可」を選択した場合

入力チェック
入力が必要な項目があります

帳票の印刷時に必須チェックを行う

帳票の印刷時に必須チェックを行う

帳票の印刷時に必須チェックを行う

しない

する

帳票入力アプリから帳票印刷を実行した際に、必須チェックを行う設定です。
必須チェックを行う場合、必須項目すべてに入力を行ってからでないと帳票印刷できなくなります。

【対象】

ブラザー工業製モバイルプリンター (PJ-673、PJ-773)での帳票印刷
スター精密製モバイルプリンター(SM-S210i、SM-T300i)でのレシート印刷

※保存メニューからの印刷実行、アクションクラスターによる印刷実行
両方ともに必須チェックが行われるようになります。

※ iOS版のみ (Windows版未対応) の機能です。

文字サイズの自動調整モード

文字サイズの自動調整モード

■文字サイズの自動調整モード

通常 縮小のみ

入力パラメータ設定画面にて「文字サイズを自動調整する」にチェックを付けたクラスターに対して有効になる設定です。

・通常

縮小方向にも拡大方向にも文字サイズの自動調整を行います。一度文字サイズが小さくなくても、入力文字列の長さに応じて、帳票定義上で設定された文字サイズまで戻るように自動調整されます。

・縮小のみ

縮小方向のみ文字の自動調整を行います。一度小さくなった文字サイズは自動で元に戻ることはありません。

The screenshot shows the 'Input Parameter Setting' screen for 'Cluster Preparation'. The 'Name' field is empty. The 'Type' is set to 'Keyboard Text'. There are several checkboxes for settings: 'Do not copy input value' (unchecked), 'Enable default display settings' (checked), 'Do not display cluster on iPhone list form' (unchecked), 'Start with input waiting state' (unchecked), and 'Output as mobile table' (unchecked). The 'Text List Display Method' section has three radio buttons: 'Always display all by wrapping' (unchecked), 'Display all by wrapping without shrinking' (unchecked), and 'Specify number of lines' (checked). The 'Number of Lines' is set to 1. Other settings include 'Horizontal Position' (Left), 'Vertical Position' (dropdown), 'Font' (Arial), 'Text Size' (30), 'Weight' (Normal), and 'Text Color' (Black). A red dashed box highlights the 'Check to automatically adjust text size' checkbox, which is checked. At the bottom, there are buttons for 'Default', 'OK', and 'Cancel'.

V8.0.21100以前のiOSアプリで帳票を開いてサーバー保存した場合、文字サイズの自動調整モードの設定がクリアされるため、以降は「縮小のみ」として動作するようになります。

申請ロック機能の設定

申請ロック機能

申請ロック機能

無効

有効

承認クラスターに申請者が申請を行ったあとで帳票の再編集ができない様にするために全クラスターに編集ロックをかける機能です。

帳票のサーバー保存を実行したタイミングで編集ロックがかかります。



不具合報告・品質対策シート

作成日	部署名	作成者
2014年06月24日(火)	加工グループ	吉田 賢
製造工場	第三工場	図面NO.
		HND098
製品群	産業機械部品	適化機種
		BB-F92837-AA-Y48375
部品名	シリンダー	客先
		〇株式会社

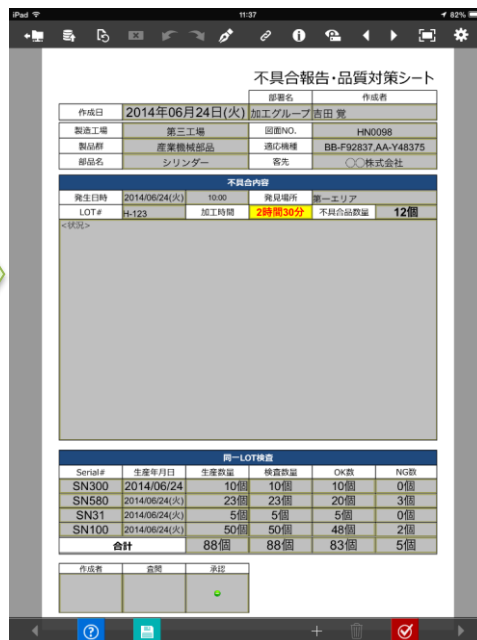
不具合内容

発生日時	10:00	発生場所	第一エリア
LOT#	H-123	加工時間	2時間30分
		不具合品数	12個

同一LOT集計

Serial#	生産年月日	生産数	検査数	OK数	NG数
SN300	2014/06/24	10個	10個	10個	0個
SN580	2014/06/24(火)	23個	23個	20個	3個
SN31	2014/06/24(火)	5個	5個	5個	0個
SN100	2014/06/24(火)	50個	50個	48個	2個
合計		88個	88個	83個	5個

承認クラスターで申請。



不具合報告・品質対策シート

作成日	部署名	作成者
2014年06月24日(火)	加工グループ	吉田 賢
製造工場	第三工場	図面NO.
		HND098
製品群	産業機械部品	適化機種
		BB-F92837-AA-Y48375
部品名	シリンダー	客先
		〇株式会社

不具合内容

発生日時	10:00	発生場所	第一エリア
LOT#	H-123	加工時間	2時間30分
		不具合品数	12個

同一LOT集計

Serial#	生産年月日	生産数	検査数	OK数	NG数
SN300	2014/06/24	10個	10個	10個	0個
SN580	2014/06/24(火)	23個	23個	20個	3個
SN31	2014/06/24(火)	5個	5個	5個	0個
SN100	2014/06/24(火)	50個	50個	48個	2個
合計		88個	88個	83個	5個

自分が入力した情報を他のユーザーが編集できなくする

自分が入力した情報を他のユーザーが編集できなくする

自分が入力した情報を他のユーザーが編集できなくする

(タブレット端末上での編集)

しない

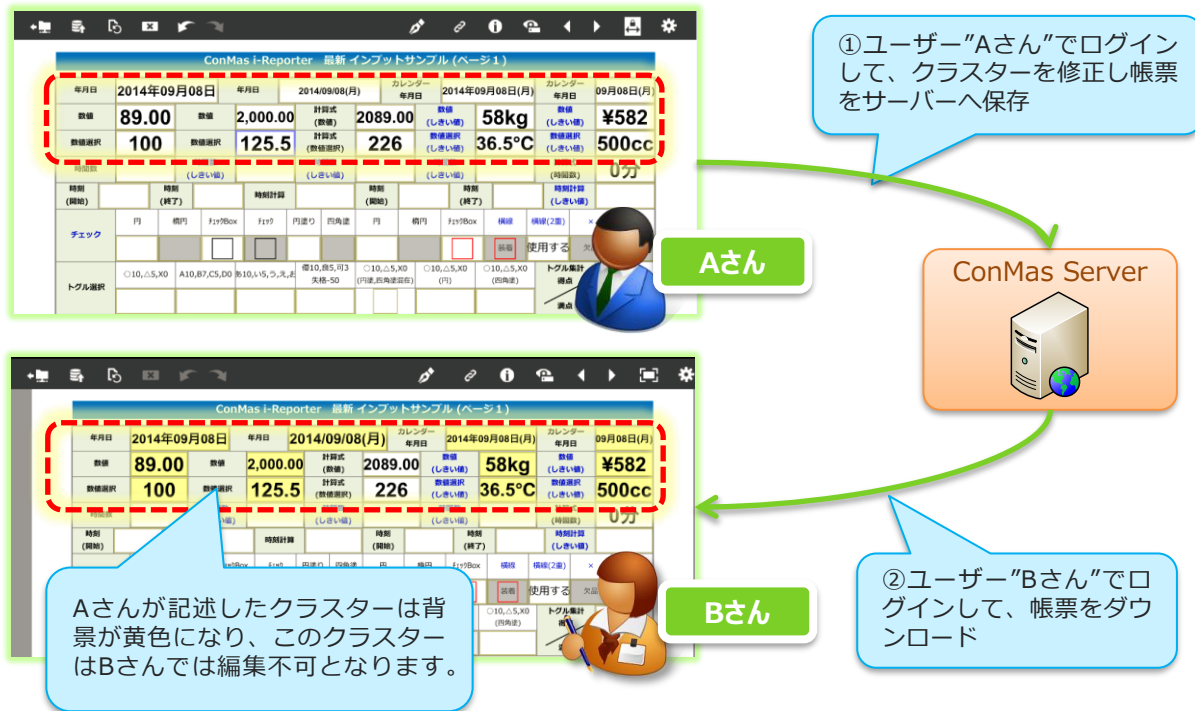
する

(Manager上での編集)

しない

する

自分が入力したクラスターの情報を誤って別のユーザーが編集し書きすることを、防止するための機能です。「タブレット端末での編集」と「Manager上での編集」に関してそれぞれ設定する事ができます。



後続クラスタのインプット部品を自動表示

タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスタのインプット部品を自動表示

タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスタのインプット部品を自動表示

しない

する

ネットワーク接続されたクラスタに関して、タブレット操作時に、先行クラスタの入力を終えた後、自動で後続クラスタに移動し、後続クラスタを入力開始状態にするかどうかの設定です。ネットワーク単位にも同様の設定を持ちます。

「する」…ネットワーク単位での設定が有効になります。
「しない」…ネットワーク単位での設定に関係なく、帳票で使用されるネットワークすべてにおいて「しない」設定となります。

ネットワーク単位での設定方法

ネットワーク一覧から右クリックメニューの「ネットワーク制限設定」をクリック。

入替	先行シートNo.	先行index	先行クラスタ	後続シートNo.	後続index
⇄	2	46	単一選択	2	47
⇄	2	47	バリュールック設定	8	8
⇄	2	48	ネットワーク必須連携	9	9
⇄	2	49	ネットワーク制限設定	10	10
⇄	2	8	ネットワーク接続	3	3
⇄	2	14	ネットワーク接続	3	3
⇄	2	20	ネットワーク	20	20

先行クラスタ未入力時の後続クラスタの入力制御

制限なし 警告を表示して入力許可 入力不可

タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスタのインプット部品を自動表示

しない する

「タブレット操作時に、ネットワーク設定された後続クラスタのインプット部品を自動表示」にて設定を行います。

クラスター履歴の設定

クラスター履歴

クラスター履歴

クラスター入力履歴設定

- 無効 (この定義ではクラスター履歴を取らない)
- 画像クラスター以外を入力履歴を持つ
- 全クラスター入力履歴を持つ

初期値変更判定設定

- 無効
- 有効

クラスター枠の判定色

変更理由の入力

- 無効
- 有効

■ クラスター入力履歴設定

この帳票定義内の各クラスターの履歴を持つかどうか、「無効」「画像クラスター以外を入力履歴を持つ」「全クラスター入力履歴を持つ」から選択します。

■ 初期値変更判定設定

一度入力したクラスターの入力値が変更された場合に、クラスター枠に色付けるかどうか設定します。またこの時のクラスター枠の色を設定します。

■ 変更理由の入力

一度入力したクラスターの入力値が変更された場合に、理由の入力を行うかを設定します。

初期値変更判定設定

- 無効
- 有効

クラスター枠の判定色

初期値変更判定設定を「有効」に設定し、クラスター枠の判定色を「Red」にした場合、入力値を変更するとクラスター枠が赤色で表示されます。

年月日 2014年06月23日

年月日 2014年06月25日

FreeDraw内に貼り付けた個別画像のサーバー送信設定

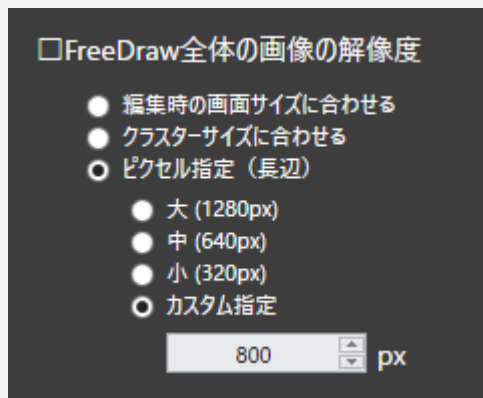
FreeDraw内に貼り付けた個別画像のサーバー送信設定

FreeDraw内に貼り付けた個別画像のサーバー送信設定

- 個別の画像をそれぞれにサーバーへ送信する
- 個別の画像はサーバーへ送信しない

FreeDraw内で使用した個別の画像をそれぞれ全てサーバーへ送付するか個別の画像はサーバーへ送付しないようにするかを選択します。デフォルトは「個別の画像をそれぞれにサーバーへ送付する」です。

FreeDraw全体の画像の解像度



FreeDraw編集終了後の全体画像の解像度を、「編集時の画面サイズに合わせる」か、「クラスターサイズに合わせる」か、または「ピクセル指定」で直接画像サイズを指定するか、選択します。デフォルトは「編集時の画面サイズに合わせる」です。この設定は各フリードロークラスターにて個別に設定する事も可能です。

フリードローの最小サイズ制限(iOS版アプリでのみ有効)

フリードローの最小サイズ制限(iOS版アプリでのみ有効)

■フリードローの最小サイズ制限(iOS版アプリでのみ有効)

制限しない

制限する

100000 Byte

この設定は必須となっているフリードロークラスターに対して有効となります。
必須のフリードローで作成された画像の最小サイズを制限することができます。
フリードローで作成された画像が設定した最小サイズ以内であった場合、入力した
ものとは扱われず必須チェックで引っ掛かるようになります。この設定は、各
フリードロークラスターにて個別に設定する事も可能です。

FreeDraw内に貼り付けた個別画像の解像度(iOS版アプリでのみ有効)

■FreeDraw内に貼り付けた個別画像の解像度(iOS版アプリでのみ有効)

- クラスターサイズに合わせる
- 画像のオリジナルサイズ
- ピクセル指定 (長辺)
 - 大 (1280px)
 - 中 (640px)
 - 小 (320px)
 - カスタム指定

px

FreeDrawの画像PICK時に画像サイズを、「クラスターサイズに合わせる」か、「画像のオリジナルサイズ」を保持するか、または「ピクセル指定」で直接画像サイズを指定するか、選択します。デフォルトは「クラスターサイズに合わせる」です。この設定は各フリードロークラスターにて個別に設定する事も可能です。

カメラで撮影した画像のカメラロールへの保存

カメラで撮影した画像のカメラロールへの保存

カメラ撮影した画像をカメラロールにも保存する

しない

する

iPadのカメラで撮影した画像を帳票に保持するだけでなく、iPad本体のカメラロールにも保存するか、しないかの設定を行います。

[する] に設定した場合には、撮影した写真がカメラロールに保存されます。

※Managerの設定が、[定義で指定] の場合に有効となります。

Manager側の設定はシステム管理メニューより行います。

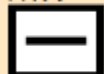
- システム管理→共通マスター管理
 - 共通キー「IPAD_SETTING」
 - 共通項目名「SAVE_LOCAL_CAMERA_IMAGE」
- 共通項目値を“1”にすると全帳票定義、入力帳票のカメラロール保存が有効になります。
- “0”にすると(Designerで設定された)帳票定義毎の設定に従います。

記入不要マークの表示

記入不要マーク

■ 記入不要マーク

ハイフン



斜線1



斜線2



クロス



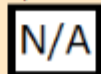
ライン1



ライン2



N/A



ハイフン(半角)



■ 帳票を新規に作成したとき、予め記入不要マークを表示する

しない すべての未入力クラスターに表示する 必須入力クラスターのみ表示する

■ 記入不要マーク動作モード

ネットワーク優先 操作優先

※「ハイフン(半角)」はDesigner 8.0.22020より使用が可能

記入不要マークの表示についての詳細はマニュアル『未入力クラスターへの記入不要マーク表示機能操作説明書』を参照下さい。

帳票備考情報の設定、タブレットで備考情報の編集可否

帳票備考情報

帳票備考情報

帳票備考名称

帳票備考情報

帳票備考 1

帳票備考 2

帳票の備考を編集できます。左列がタイトル、右列が内容となります。
この備考は「帳票全体」の備考で、各シート別の備考はシート編集画面の「シート情報設定」から編集できます。

タブレットで備考情報の編集

タブレットで備考情報の編集

編集不可

編集可能

iPadアプリで備考情報の編集を許可するかどうかの設定です。

帳票備考/システムキーへのクラスター値コピー

※ Designer Ver.5.0.5521 以降でご利用になれます。

帳票備考/システムキーへのクラスター値のコピー

帳票備考名称	帳票備考情報	コピーするクラスター	
帳票備考 1		1,11	クラスター表示値
帳票備考 2		1,17	クラスター表示値

システムキーにコピーするクラスター	
システムキー 1	1,75
システムキー 2	1,77

小計 :
合計 :

指定したクラスターの名称が表示されます。

帳票をサーバー保存する際に、帳票備考1~10、システムキー1~5に指定したクラスターの値がコピーされます。

コピーするクラスター値は「クラスター表示値」または「クラスター値」から選択します。クラスター指定は「シートNo.」と「クラスターインデックス」をカンマ区切りで入力することで設定します。数値はすべて半角で指定し、スペースは使用しないで下さい。

2シート目 → **2,15** ← クラスターIndex

指定できないクラスター種別は「手書きノート形式」「手書きフリーメモ」「フリードロー」「画像」「チェック」「作成」「査閲」「承認」「アクション」です。

帳票備考/システムキーへのクラスター値コピーの設定方法

- 帳票備考/システムキーへのクラスター値コピーは、クラスターを選択後に右クリックメニューから指定することでも設定できます。

①クラスターを選択します。

②右クリックメニューから「備考/システムキーとの連携」を選択します。

③選択したクラスターの入力値と連携を行いたい帳票備考またはシステムキーをクリックします。

商品名	入数	箱数	単位	単価	金額	備考
						クラス
						クラス
						クラス
						クラス
						クラス
						クラス
						クラス
						クラス
						クラス

右クリックメニュー:

- 横方向にコピー
- 縦方向にコピー
- 連携用テーブルの出力
- 準備/システムキーへのコピー
- 時刻計算クラスター選択
- コピー
- ペースト
- 設定ペースト(備考以外)
- 設定ペースト(計算式と備考以外)
- 設定ペースト(備考のみ)
- 設定ペースト(書式のみ)
- 1つ戻る
- 削除

右クリックメニューのサブメニュー:

- 帳票備考 1
- 帳票備考 2
- 帳票備考 3
- 帳票備考 4
- 帳票備考 5
- 帳票備考 6
- 帳票備考 7
- 帳票備考 8
- 帳票備考 9
- 帳票備考 10
- システムキー 1
- システムキー 2
- システムキー 3
- システムキー 4
- システムキー 5

帳票備考名称

帳票備考情報	コピーするクラスター
帳票備考 1	1,11 クラスター表示値 商品分類
帳票備考 2	クラスター表示値



コピーするクラスター

1,11 クラスター表示値 商品分類

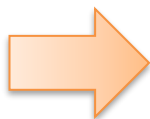
- ④ 選択したクラスターのシートNo.とクラスターインデックス情報が、右クリックメニューで指定した帳票備考またはシステムキーの箇所へ自動設定されます。

クラスター値をクリアした場合の帳票備考

- 帳票備考へのクラスター値コピー設定を行っている場合に、該当するクラスターの入力値をクリアした際に、備考の値もクリアするかどうか設定することができます。

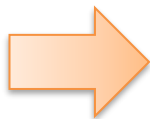
帳票備考 9			クラスター表示値	▼
帳票備考 10			クラスター表示値	▼
タブレットで備考情報の編集				
<input checked="" type="radio"/> 編集不可 <input type="radio"/> 編集可能				
備考連携クラスターが未入力の場合				
<input type="radio"/> 備考クリアしない <input checked="" type="radio"/> 備考クリアする				

備考クリアしない



クラスター入力値をクリアしても、備考に記入された内容はそのまま残る。

備考クリアする
(デフォルト)



クラスター入力値をクリアした場合、備考に記入された内容もクリアされる。

クラスターの移動順（音声入力のみ有効）

クラスターの移動順（音声入力のみ有効）

クラスター-移動順（音声入力のみ有効）

クラスター-index順

iPhone表示順

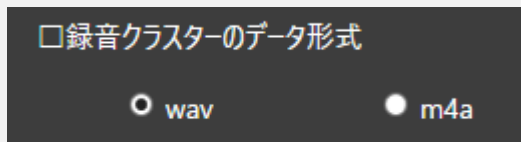
音声入力の際にのみ有効となる設定です。

クラスターの移動順を「クラスター-index」または「iPhone表示順」から選択できます。

「iPhone表示順」を設定した場合は、iPhone表示順の設定が空白設定の際に意図通り動作しない可能性がありますので必ずiPhone表示順を設定するようにご注意ください。

録音クラスターのデータ形式

録音クラスターのデータ形式



録音クラスターで録音したデータの形式を「wav」または「m4a」から選択します。

• wav

非圧縮形式のため、詳細な録音データが取得できますが、データ容量は非常に大きくなります。（1分辺り10MB程度）
異音検知や音響解析などの目的の場合はこちらを選択して下さい。
各録音クラスターで設定可能な最大録音時間は180秒までとなります。

• m4a

圧縮形式のため、データ容量は小さくなりますが、一部の音域データは取得できません。
人間が聞き取れる範囲の音域までしか記録できませんのでご注意ください。
各録音クラスターで設定可能な最大録音時間は600秒までとなります。

■ wav形式を選択する際の注意点

wav形式の録音データは非常に大きなデータ容量となりますため、想定されている実運用に耐えられるデータ容量かどうかの事前検証を必ず行って下さい。

また、お客様環境における帳票アップロードの際の容量制限に引っ掛からないことを事前にご確認下さい。

また、Windows版アプリにおいてwav形式の録音データを含む帳票を扱う際にはメモリを圧迫しますので、十分にメモリを確保した状態でご利用下さい。（録音データ1つにつき+200MBほどのメモリ増加を想定して下さい）

■ m4a形式を選択する際の注意点

データとして取得できない音域が存在するため、異音検知や音響解析の目的では使用しないで下さい。

音声入力終了の判定時間

音声入力終了の判定時間

□音声入力終了の判定時間

設定しない 設定する

□音声入力終了の判定時間

設定しない 設定する 650 msec (10 ~ 1000 msec)

音声入力の際にのみ有効となる設定です。

音声入力を終了したと判定するまでの時間を帳票定義単位で設定しておくことができます。

10～1000msecの範囲で設定が可能です。デフォルトは650msecとなります。

「設定しない」にした場合のデフォルト設定も650msecとなります。

ネットワークの後続移動後にアンサーバックを行う

ネットワークの後続移動後にアンサーバックを行う

■ネットワークの後続移動後にアンサーバックを行う

しない

する

音声入力の際にのみ有効となる設定です。

「する」に設定することで、ネットワークの後続移動後に、後続クラスターのクラスター名をアンサーバックします。入力値もアンサーバックする設定の場合は入力値も合わせてアンサーバックします。

帳票完了時・編集時のファイルの自動出力

帳票完了時のファイルの自動出力 帳票編集時のファイルの自動出力

■ 帳票完了時のファイルの自動出力

- しない
- する (システム管理の設定に従う)
- する (個別に設定する)

■ 帳票編集時のファイルの自動出力

- しない
- する (システム管理の設定に従う)
- する (個別に設定する)

帳票の完了保存、または帳票の編集中保存を行った際に、各種ファイル（CSV、XML、PDF）の自動出力を行うかどうかの設定です。「する(システム管理の設定に従う)」を選択した場合はConMas Managerでのシステム管理の設定に従います。

する (個別に設定する)

- CSV(縦)
 - 入力クラスター画像および録音データを含む
 - ZIP
- CSV(横)
 - 入力クラスター画像および録音データを含む
- XML
- PDF
 - PDFレイヤー
 - Docuworks
- EXCEL

「する(個別に選択する)」を選択した場合は、配下に新たに設定が表示され、帳票定義単位で、各ファイル毎に出力する/しないを細かく設定することができます。

非活性となっているチェックボックスは、その上の階層のチェックボックスをONにすることで活性化し、設定が可能になります。

(旧)帳票完了時・編集時のファイルの自動出力

Designer Ver.8.1.23020以前は下記のような表示となります。

帳票完了時のファイルの自動出力 帳票編集時のファイルの自動出力

帳票完了時のファイルの自動出力

しない する

帳票編集時のファイルの自動出力

しない する

帳票の完了保存、または帳票の編集中保存を行った際に、各種ファイル（CSV、XML、PDF）の自動出力を行うかどうかの設定です。

Designer Ver.8.1.23040より

「する」→「する(システム管理の設定に従う)」に名称変更となりました。

こちらの設定の動作自体には変更はありません。

連携用テーブルの作成（Motion Board、Dr.Sum連携）

連携用テーブルの作成

連携用テーブルの作成（MotionBoard, Dr.Sum 連携）

作成しない

作成する（全項目）

作成する（対象項目を指定）

MotionBoard、Dr.Sumなど外部のデータ集計管理システムと、ConMas i-Reporterとの連携を行うためのテーブルデータを作成するかどうかの設定です。

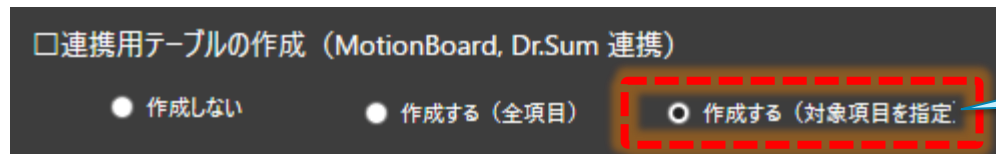
作成しない：連携用テーブルを作成しません。

作成する（全項目）：連携用テーブルを全項目作成します。

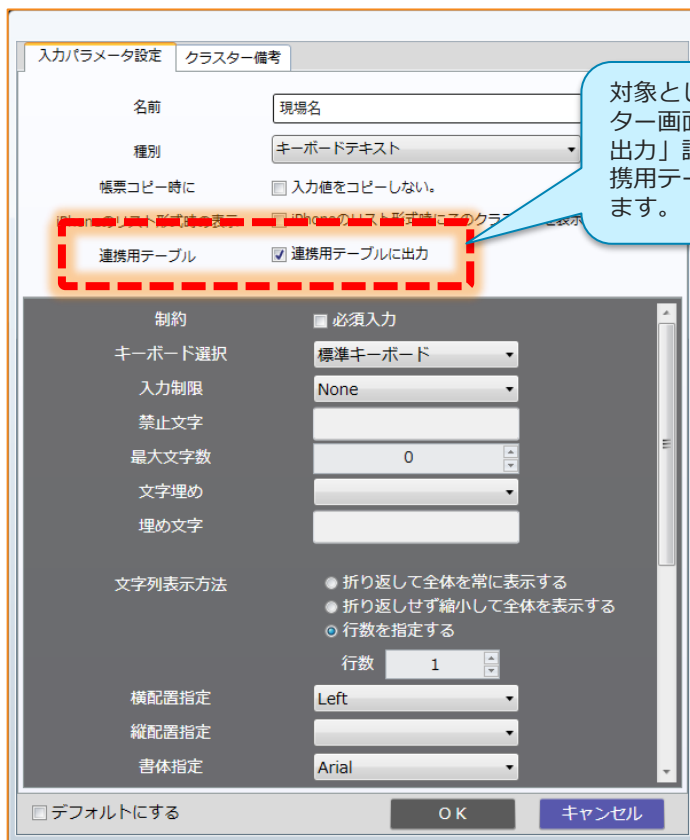
作成する（対象項目を指定）：対象にしたクラスターに関してのみ作成します。

クラスター単位の連携用テーブル作成対象設定

- ・ クラスター単位の連携用テーブル作成対象の設定は以下の方法で行います。
- ・ 連携クラスター数の目安は1500個以下です。

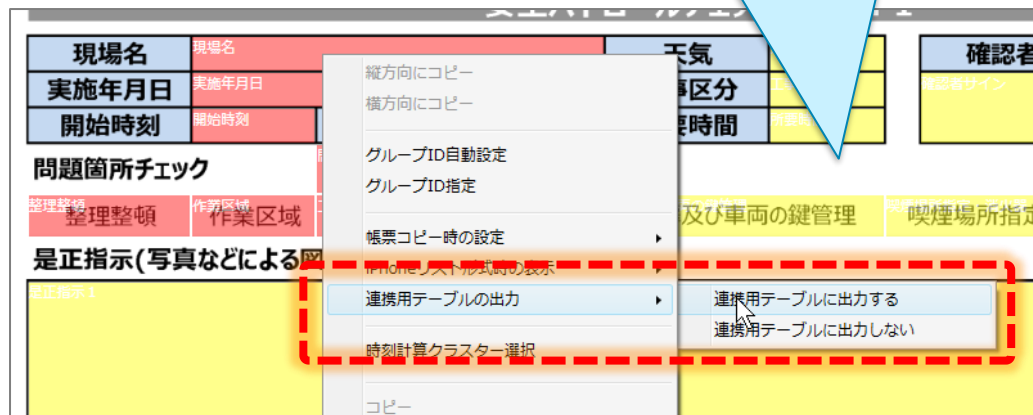


連携用テーブルの作成で「作成する (対象項目を指定)」を選択します。



対象としたいクラスターの入力パラメータ画面上部にある「連携用テーブルに出力」設定にチェックを入れる事で、連携用テーブル作成の対象にすることができます。

また、編集画面上での右クリックメニューから、現在選択中のクラスターに関して、連携用テーブルの出力対象とすることを一括して設定・変更することもできます。



帳票コピー機能を使用する

帳票コピー機能を使用する

帳票コピー機能を使用する

しない

する

タブレット上で帳票コピー機能を使用するかしないかの設定です。「しない」に設定した場合、この帳票定義から作成された帳票に関しては、タブレット上で「この帳票をコピーして作成する」ボタンを非表示にします。

帳票コピー機能を使用しない

ConMas i Reporter 不具合報告・品質対策シート

作成日	作成者	依頼	依頼先

申請日	申請内容	申請先

発生日時	発生場所	発生原因	発生内容

発生日時	発生場所	発生原因	発生内容

発生日時	発生場所	発生原因	発生内容

発生日時	発生場所	発生原因	発生内容

発生日時	発生場所	発生原因	発生内容

この帳票を編集する

帳票コピー機能を使用する

ConMas i Reporter 不具合報告・品質対策シート

作成日	作成者	依頼	依頼先

申請日	申請内容	申請先

発生日時	発生場所	発生原因	発生内容

発生日時	発生場所	発生原因	発生内容

発生日時	発生場所	発生原因	発生内容

発生日時	発生場所	発生原因	発生内容

発生日時	発生場所	発生原因	発生内容

この帳票を編集する

この帳票をコピーして作成する

帳票コピー方法

帳票コピー方法

帳票コピー機能を使用する

しない する

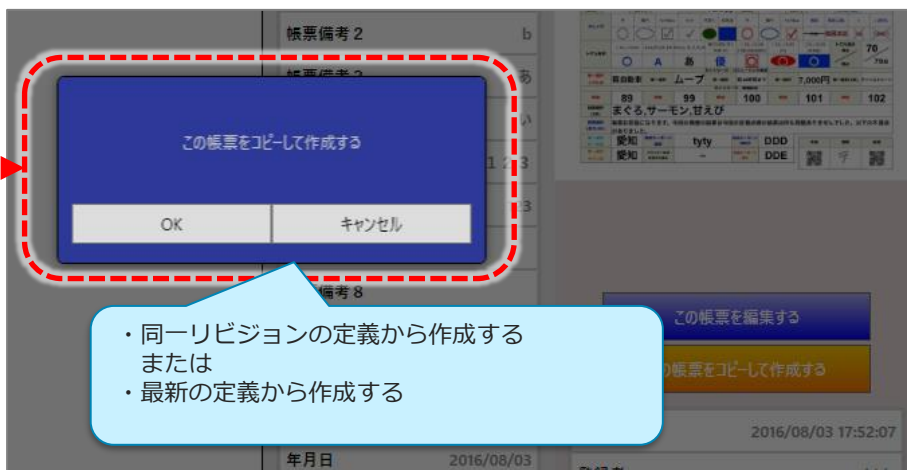
帳票コピー方法

同一リビジョンの定義から作成する

最新の定義から作成する

上記をコピー時に選択する

「帳票コピー機能を使用する」設定で「する」を選択した場合に「帳票コピー方法」設定が表示されます。帳票コピーを実行する際の帳票コピー方法を「同一リビジョンの定義から作成する」「最新の定義から作成する」「上記をコピー時に選択する」の3つから選択します。



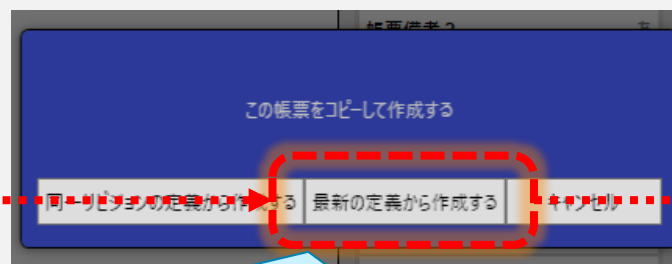
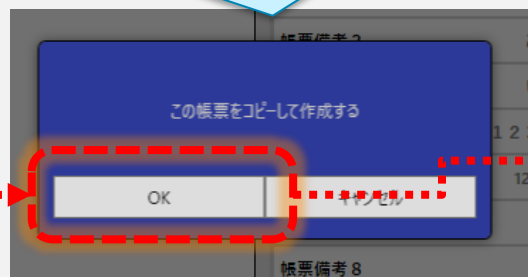
「最新の定義から作成する」タブレットアプリ動作 1

タブレットではサーバーとの通信が必須となります。通信できない場合は通信エラーとなります。

通信できない場合



- ・ 同一リビジョンの定義から作成する
または
- ・ 最新の定義から作成する



- ・ 上記をコピー時に選択する
- ※ 「同一リビジョンの定義から作成する」はオフラインでも可能

「最新の定義から作成する」タブレットアプリ動作 2

- ・「最新の定義から作成する」設定となっているコピー元帳票がローカルに保存されているとコピーボタンが非表示となり、その帳票からはコピーできません。
- ・「上記をコピー時に選択する」設定の場合はコピーボタンは表示されますが、「最新の定義から作成する」ボタンが非活性となります。

※「同一リビジョンの定義から作成する」はローカル保存帳票でもコピー可能です。

補足)

ローカル帳票をサーバーへ保存することでコピーは可能となります。

ローカル保存している帳票の場合

The diagram shows two scenarios for the 'Copy from latest definition' button:

- Scenario 1 (Left):** When a bill is saved locally, the 'Copy from latest definition' button is disabled (greyed out). A callout box states: 「最新の定義から作成する」設定の場合はコピーボタンなし (When the 'Copy from latest definition' setting is selected, the copy button is not shown).
- Scenario 2 (Right):** When a bill is saved locally, the 'Copy from latest definition' button is active (highlighted in blue). A callout box states: 「上記をコピー時に選択する」設定の場合はボタン非活性 (When the 'Select above when copying' setting is selected, the button is inactive).

Red dashed boxes highlight the 'Copy from latest definition' button in both scenarios, with arrows pointing to the callout boxes. The right scenario also shows a 'Cancel' button next to it.

作成した帳票を排他ロック（旧：作成した帳票の同時編集）

※ Designer Ver 8.1.22120 以降はこちらの名称と設定内容になります。機能自体に変更はありません。

作成した帳票を排他ロック

■ 作成した帳票を排他ロック

（同じ項目を修正した場合は後書き優先となります。）

しない する

設定の名称を変更したことに伴い、Ver.8.0.22111以前の

「作成した帳票を同時編集可能にする」とは

「しない」と「する」の意味が逆転している点にご注意下さい。

こちらは表示上の変更のみのため、Ver.8.0.22111以前に保存してある帳票定義の設定を変更しなおす必要はありません。

作成した帳票を排他ロックするかどうかの設定です。「**しない**」に設定した場合、保存した帳票をタブレット上で再編集する際に帳票に対してロックを掛けなくなり、別ユーザーが同じ帳票を別タブレットで編集することが可能になります。

デフォルトは「する」になります。

※ Designer Ver 8.0.22111 以前はこちらの名称と設定内容になります。機能自体に変更はありません。

作成した帳票を同時編集可能にする。（旧表示）

■ 作成した帳票を同時編集可能にする。

（同じ項目を同時編集した場合は後書き優先となります。）

しない する

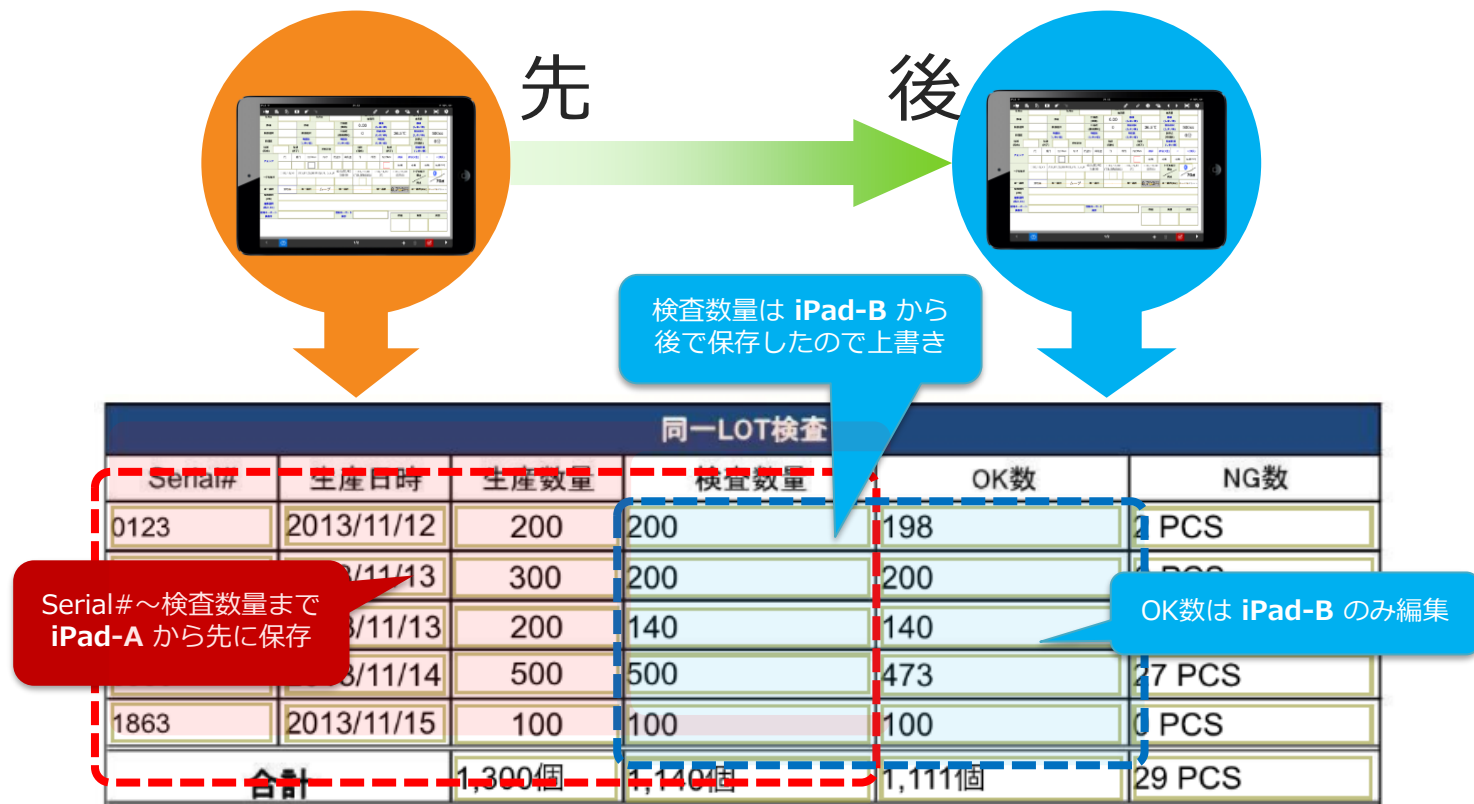
帳票の同時編集を可能にするかどうかの設定です。「**する**」に設定した場合、保存した帳票をタブレット上で再編集する際に帳票に対してロックを掛けなくなり、別ユーザーが同じ帳票を別タブレットで編集することが可能になります。

デフォルトは「しない」になります。

排他ロックしない帳票の保存

- 複数台のタブレットで帳票の編集を同時に行いサーバー保存した場合、編集が被った項目は後から保存した内容で上書きされます。
- 推奨設定
「クラスター入力履歴設定」を有効にする
排他ロックしない設定をご利用の場合、意図せず値が変更・上書きされる可能性があります。
上書きされた値は元に戻すことができません。入力履歴を取っておくことで上書き前の値を確認できます。

クラスター入力履歴の詳細はマニュアル『クラスターの入力履歴の取得』の「3. PDF証跡出力」を参照下さい。



一度編集保存されたクラスターを再編集不可にする

※ Designer Ver 5.0.5492 以上でご利用いただけます。

一度編集保存されたクラスターを再編集不可にする

一度編集保存されたクラスターを再編集不可にする

しない

する

帳票をサーバーへ編集保存した段階で、以後、記入済みのクラスターをタブレットで編集させないようにする設定です。

詳細は「一度編集保存されたクラスターは再編集できなくする機能」マニュアルをご参照下さい。

外部システム連携

□外部システム連携

自動帳票作成 選択値自動取得

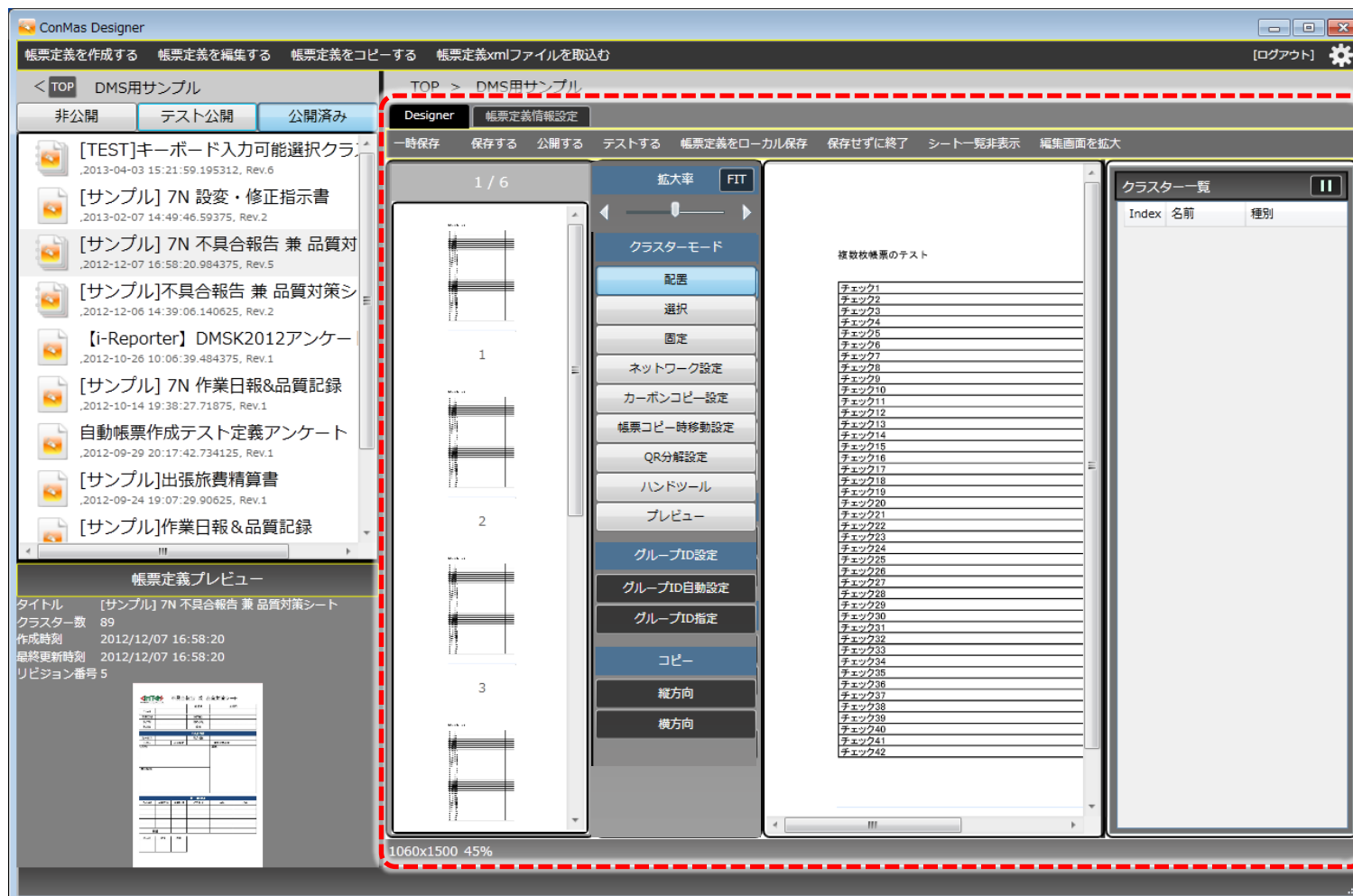
しない する しない する

外部システムと連携させるかどうかの設定です。

- 自動帳票作成
オプションの外部連携APIを使って、外部システムから受け取ったデータを元に帳票をまとめて自動作成する機能を利用する場合は[する]を選択します。ConMas Manager上でCSV/XML取り込みによる一括作成をする場合にも[する]を選択します。
- 選択値自動取得
オプションの外部連携APIを使って、外部システムから単一選択、複数選択の選択値を更新する機能を利用する場合は[する]を選択します。

Designer編集画面への切替

- Designerタブをクリックすると帳票定義の編集画面が表示されます。
- この画面で各クラスターの配置や詳細の動作設定などを行います。



Designer編集画面のメインメニュー

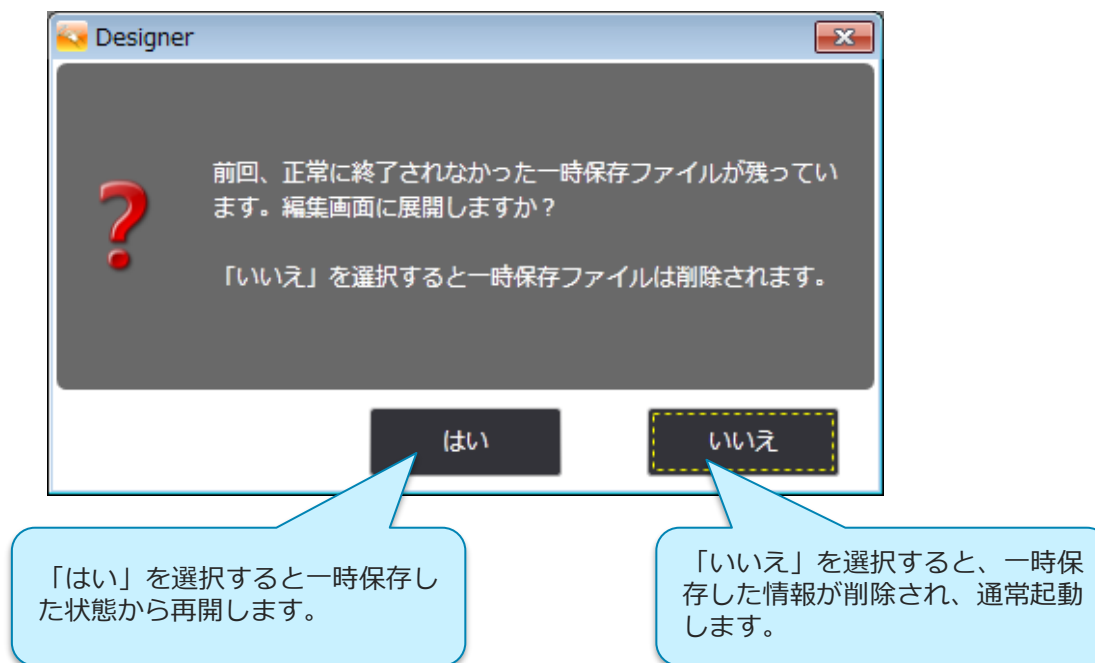
一時保存 保存する 公開する テストする 帳票定義をローカル保存 保存せずに終了 シート一覧非表示 編集画面を拡大 EXCEL定義出力

- **一時保存**
ローカルに一時保存します。エラー等が発生した際などに一時保存していた状態から再開することができます。
- **保存する**
非公開でサーバーに保存します。
- **公開する**
公開でサーバーに保存します。iPadアプリで見ることができます。
- **テストする**
テスト用にサーバーに保存します。iPadアプリではテスト帳票の表示をする設定にしていれば見ることができます。
※テスト公開定義から作成する帳票は、運用前のテスト目的でのみご利用ください。
- **帳票定義をローカル保存**
帳票定義をxmlファイルとしてローカルに保存します。
- **保存せずに終了**
編集内容を破棄して編集画面を閉じます。
- **シート一覧非表示**
シートのサムネイル一覧を隠します。
- **編集画面を拡大**
ウィンドウ枠や帳票定義リストを隠し、編集画面を最大化します。
- **EXCEL定義出力**
EXCELファイルから帳票定義を作成した場合のみ有効。帳票定義情報をEXCELファイルに戻して再び出力します。

帳票定義の一時保存

- 一時保存をしておくと、何らかの原因によりDesignerが異常終了した場合でも、次回ログイン時に最後に一時保存をした編集状態から再開できます。
- 一時保存はクラスターの入力パラメーター情報を保存したタイミングなど、定期的に内部で自動実行されています。メニューから選択すると任意に実行できます。
- 一時保存を実行しても編集を続行することができます。
- Designerを正常終了した場合、一時保存した情報は削除されます。

Designerが異常終了した場合に次回ログイン時にメッセージが表示



帳票定義xmlファイルのローカル保存

- 帳票定義情報をxmlファイルとしてPCに保存することができます。
- 編集画面メインメニューから「帳票定義をローカル保存」を実行し、保存先を指定して[保存]をクリックします。xmlファイルの出力が成功すると「帳票定義ファイルを出力しました。」というメッセージが表示され、編集画面が終了します。
- ローカル保存のためサーバー接続の必要がありませんので、ネットワークの不調などによりサーバーへ接続できない場合などに、帳票定義を一時的に保存できます。



帳票定義xmlファイルの取込

- ローカル保存した帳票定義のxmlファイルはDesigner上部メニュー「帳票定義xmlファイルを取込む」からDesignerへ取込むことができます。

※ 帳票定義を編集中にxmlファイルを取込むと、編集中的内容が破棄されて取り込んだxmlファイルの内容に置き換わります。

The image illustrates the process of importing an XML file into ConMas Designer. It consists of three main screenshots:

- Top Screenshot:** The ConMas Designer interface with the menu bar. The option '帳票定義xmlファイルを取込む' (Import XML File) is highlighted with a red dashed box.
- Middle Screenshot:** A file explorer window showing the selection of 'UploadFile@単一選択トグル式.xml' from the 'Temp' folder. A blue callout box says 'Xmlファイルを選択' (Select XML file). The file name is shown in the bottom bar.
- Bottom Screenshot:** The Designer interface showing the XML content being imported. A message box says '帳票定義xmlファイルを取込みました。' (XML file imported). A blue callout box says '帳票定義xmlファイルの内容がDesignerに展開されます。' (The content of the XML file is expanded in Designer).

帳票編集エリア、クラスター一覧表示エリア

帳票編集エリア

クラスターの作成、選択、移動や、プレビューを表示します。

Designer 帳票定義情報設定

保存する 公開する テストする 保存せずに終了 シート一覧非表示 編集画面を非表示

1 / 5

拡大率 FIT

クラスターモード

配置

選択

固定

ネットワーク設定

カーボンコピー設定

帳票コピー時移動設定

カスタムマスター設定

QR分解設定

ハンドツール

プレビュー

クラスター名称変換

グループID設定

グループID自動設定

グループID指定

コピー

縦方向

横方向

印刷

作業日報

氏名

日付

個別指示 (資源区分: 作業者個人に属された作業)

オーダ・部品情報

Index	名前	種別
A0001-0101-99		

個別指示外

オーダ・部品情報

Index	名前	種別
A0090-0101-99		

クラスター一覧

Index	名前	種別
0	作成日	キーボードテキスト
1	部署名	キーボードテキスト

クラスター一覧表示エリア

クラスター一覧

Index	名前	種別
0	作成日	キーボードテキスト
1	部署名	キーボードテキスト

シート内のクラスターを一覧表示します。右上のボタンで、帳票表示エリアの右側、もしくは下側に表示を切り替えられます。

クラスター備考一覧

「クラスター備考」ボタンをクリックする事でクラスター備考一覧が表示されます。
「戻る」ボタンをクリックする事でクラスター一覧の表示に戻ります。

Index	名前	種別	iPhone表示順	iPt
0	年月日	年月日	0	1
1	年月日	年月日	1	1
2	年月日	カレンダー-年月日	2	1
3	年月日	カレンダー-年月日	3	1

Index	名前	クラスター備考1	クラスター備考2	クラスター備考3	クラスター備考4	クラスター備考5	クラスター備考6	クラスター備考7	クラスター備考8	クラスター備考9	クラスター備考10
0	年月日										
1	年月日	001		003	004						
2	年月日										
3	年月日										
4	数値										
5	数値										

クラスター備考一覧上で各クラスターのクラスター備考1～10を手動で編集することができます。

クラスター備考一覧上で編集を行った内容は各クラスターのクラスター備考1～10に反映されます。

入力パラメータ設定 クラスター備考

●クラスター備考情報

備考名称	備考情報
クラスター備考1	001
クラスター備考2	
クラスター備考3	003
クラスター備考4	004
クラスター備考5	
クラスター備考6	
クラスター備考7	
クラスター備考8	
クラスター備考9	
クラスター備考10	

デフォルトにする

OK キャンセル

クラスター備考一覧へのペースト

- EXCELファイル上で記述されたものをコピーし、クラスター備考一覧へペーストすることができます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2		A-001	A-002	A-003	A-004	A-005	A-006	A-007	A-008	A-009	
3		B-001	B-002	B-003	B-004	B-005	B-006	B-007	B-008		
4		C-001	C-002	C-003	C-004	C-005	C-006	C-007	C-008	C-009	
5											
6		E-001	E-002	E-003	E-004	E-005	E-006	E-007	E-008	E-009	
				F-003	F-004	F-005	F-006	F-007	F-008	F-009	

① EXCELファイル上でコピーしたい範囲を選択し、右クリックメニューからコピーを実行します。

② Designerのクラスター備考一覧上でペーストの開始位置を選択します。

Index	名前	クラスター備考 1	クラスター備考 2	クラスター備考 3
0	年月日			
1	年月日			
2	年月日			
3	年月日			
4	数値			
5	数値			
6	計算式			

Index	名前	クラスター備考 1	クラスター備考 2	クラスター備考 3	クラスター備考 4	クラスター備考 5
0	年月日					
1	年月日					
2	年月日					
3	年月日					
4	数値					
5	数値					
6	計算式					
7	数値					
8	数値					

③ 右クリックメニューからペーストを実行します。

Index	名前	クラスター備考 1	クラスター備考 2	クラスター備考 3	クラスター備考 4	クラスター備考 5	クラスター備考 6	クラスター備考 7	クラスター備考 8	クラスター備考 9	クラスター備考 10
0	年月日										
1	年月日										
2	年月日										
3	年月日										
4	数値	A-001	A-002	A-003	A-004	A-005	A-006	A-007	A-008	A-009	A-010
5	数値	B-001	B-002	B-003	B-004	B-005	B-006	B-007	B-008	B-009	B-010
6	計算式	C-001	C-002	C-003	C-004	C-005	C-006	C-007	C-008	C-009	C-010
7	数値										
8	数値	E-001	E-002	E-003	E-004	E-005	E-006	E-007	E-008	E-009	E-010
9	数値選択	F-001	F-002	F-003	F-004	F-005	F-006	F-007	F-008	F-009	F-010
10	数値選択										

④ ②で選択した開始位置から①でコピーした内容がペーストされます。

クラスター備考一覧上でのクラスター備考クリア

- クラスター備考一覧上から行単位での一括クリアができます。

クラスター備考一覧												戻る	≡
Index	名前	クラスター備考 1	クラスター備考 2	クラスター備考 3	クラスター備考 4	クラスター備考 5	クラスター備考 6	クラスター備考 7	クラスター備考 8	クラスター備考 9	クラスター備考 10		
3	年月日												
5	数値	B-001	B-002	B-003	B-004	B-005	B-006	B-007	B-008	B-009	B-010		
6	計算式	C-001	C-002	C-003	C-004	C-005	C-006	C-007	C-008	C-009	C-010		
7	数値												
8	数値	E-001	E-002	E-003	E-004	E-005	E-006	E-007	E-008	E-009	E-010		

① クラスター備考一覧上でクラスター備考を削除したい行を選択します（複数行可）。

クラスター備考一覧											
Index	名前	クラスター備考 1	クラスター備考 2	クラスター備考 3	クラスター備考 4	クラスター備考 5	クラスター備考 6	クラスター備考 7	クラスター備考 8	クラスター備考 9	クラスター備考 10
3	年月日										
4	数値	A-001	A-002	A-003	A-004	A-005	A-006	A-007	A-008	A-009	A-010
5	数値	B-001	B-002	B-003	B-004	B-005	B-006	B-007	B-008	B-009	B-010
6	計算式	C-001	C-002	C-003	C-004	C-005	C-006	C-007	C-008	C-009	C-010
7	数値										
8	数値	E-001	E-002	E-003	E-004	E-005	E-006	E-007	E-008	E-009	E-010

右クリックメニュー:

- ペースト
- 選択行のクラスター備考をクリア

② 右クリックメニューから「選択行のクラスター備考をクリア」を実行します。

クラスター備考一覧											
Index	名前	クラスター備考 1	クラスター備考 2	クラスター備考 3	クラスター備考 4	クラスター備考 5	クラスター備考 6	クラスター備考 7	クラスター備考 8	クラスター備考 9	クラスター備考 10
3	年月日										
4	数値	A-001	A-002	A-003	A-004	A-005	A-006	A-007	A-008	A-009	A-010
5	数値										
6	計算式										
7	数値										
8	数値										
9	数値選択	F-001	F-002	F-003	F-004	F-005	F-006	F-007	F-008	F-009	F-010

③ ①で選択した行のクラスター備考が全てクリアされます。

シート一覧 プレビュー表示

シート一覧 プレビュー表示

- タイトル部分は、現在のページ/総ページ数を表示しています。
- サムネイルをダブルクリックすると、そのシートが編集状態になります。
- サムネイル上で右クリックメニューを表示して、シートの削除、挿入ができます。

シート一覧の操作については、Designer マニュアル「帳票定義のシート削除と挿入」をご確認ください。

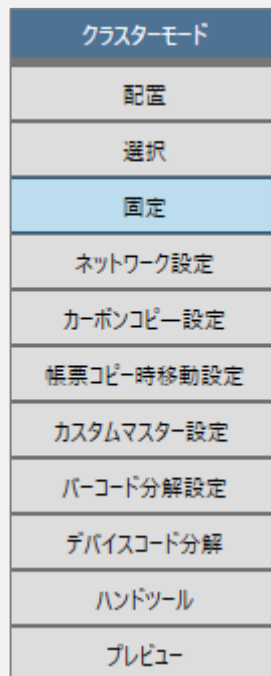
編集モードの設定



編集モードの設定



- 拡大率
スライダーで表示倍率を変更できます。
- FIT
背景の全体がおさまるように表示倍率を変更します。



- 配置
クラスターを作成、移動できます。
- 選択
クラスターを移動できます。
- 固定
クラスターを固定した状態で編集します。
- ネットワーク設定
ネットワークを作成、設定します。
- カーボンコピー設定
カーボンコピーを作成、設定します。
- 帳票コピー時移動設定
帳票をコピーする時のクラスター間の値の移動を設定します。
- カスタムマスター設定
カスタムマスターの親子関係の紐付けを設定します。
- バーコード分解設定
バーコードを他のクラスターに分解して入力する設定を行います。
- ハンドツール
背景の表示位置を移動できます。
- プレビュー
ダミーテキストで入力イメージを表示します。

- 「配置」「選択」は、画像ファイル、PDF、TIFF、GIFファイルから作成する帳票定義へのクラスター作成、移動で使用します。(EXCELファイルから作成する帳票定義は、EXCEL上でクラスターを配置します。)
- 「帳票コピー時の移動設定」の詳細は、「帳票コピー機能」マニュアルをご確認ください。
- 「カスタムマスター設定」の詳細は、「Designerでのカスタムマスターの設定方法」マニュアルをご確認ください。
- 「バーコード分解設定」の詳細は、「バーコード分解機能」マニュアルをご確認ください。

編集モードの設定



編集ツール

クラスター名称変換

選択したクラスターの名称を一括して変換します。
※「クラスター種別と入力パラメーター」マニュアルをご参照下さい。

音声認識辞書

音声認識辞書を作成します。
※「音声認識辞書の作成・編集」マニュアルをご参照下さい。

表の確認

EXCE Add-inで設定した表形式データの設定情報を表示します。

グループID設定

- グループID自動設定
チェッククラスター、トグル選択クラスターのグループIDを自動採番して一括設定します。

グループID自動設定

- グループID指定
チェッククラスター、トグル選択クラスターのグループIDをユーザーが指定して一括設定します。

グループID指定

コピー

- 縦方向
選択中のクラスターを下方向にコピーします。
- 横方向
選択中のクラスターを右方向にコピーします。

縦方向

横方向

シート情報設定

シート情報設定画面を開きます。シート名称やシート備考の編集、シート背景画像の入替えができます。

全シートコピー可

シート単位で設定する「シートコピー可否」設定に関して、全シートを「シートコピー可」または「シートコピー不可」に一括して設定するボタンです。

全シートコピー不可

表の確認

- 「表の確認」ボタンをクリックすることでEXCEL Add-inで作成した表形式データの設定情報をDesigner上で参照することができます。

The screenshot shows the ConMas Designer interface with a 'Table Confirmation' dialog box open. The dialog box contains the following information:

表一覧

- 1. 表1
- 2. 表2

表番号 1

表名称 表1

連携テーブルに出力する

列名称	列1	列2	出力対象外
列キー	F_001	F_002	出力対象外
列型	テキスト	数値	出力対象外
クラスター種別	時刻	数値	アクション

行名称	1	2	3
行1	2. 時刻1	3. 計測値1	4. ボタン
行2	5. 時刻2	6. 計測値2	7. ボタン
行3	8. 時刻3	9. 計測値3	10. ボタン

The '表の確認' button in the software interface is highlighted with a red dashed box and an orange arrow pointing to the dialog box.

表の確認画面

- 表の確認画面は、EXCEL Add-in上の表設定と同等の画面レイアウトになります。また、こちらは参照画面のため、表設定を変更されたい場合は、EXCEL定義出力にてEXCELファイルを出力し、EXCEL Add-in上で編集を行って下さい。

表一覧

1. 表1
2. 表2

表番号 1
表名称 表1
 連携テーブルに出力する

表の全体設定の情報です。

列の設定情報です。

列名称	列1	列2	出力対象外
列キー	F_001	F_002	出力対象外
列型	テキスト	数値	出力対象外
クラスター種別	時刻	数値	アクション

行の設定情報です。

行名称	1	2	3
行1	2. 時刻1	3. 計測値1	4. ボタン
行2	5. 時刻2	6. 計測値2	7. ボタン
行3	8. 時刻3	9. 計測値3	10. ボタン

表設定されているクラスター情報です。
「クラスター-index, クラスター名称」
の形式で表示されています。

「OK」ボタンをクリックすることで
表の確認画面を閉じます。

OK

表一覧
「表番号, 表名称」
の形式で表示されています。
ここで選択した表の設定情報が
画面右に表示されます。

シート情報の設定

- 「シート情報設定」では、シート単位に名称や備考等を設定、編集できます。

シート定義名称です。
EXCELから取込みした場合はEXCELの
シート名称が自動で設定されます。

シート単位で設定する備考です。

「シート情報設定」ボタンを
クリック

備考名称	備考情報
シート 備考1	
シート 備考2	
シート 備考3	
シート 備考4	
シート 備考5	
シート 備考6	
シート 備考7	
シート 備考8	
シート 備考9	
シート 備考10	

●本シートのシートコピー可否
 シートコピー可 シートコピー不可

画像ファイルからシート定義の入れ替え
マルチページファイルからシート定義の入れ替え

OK キャンセル

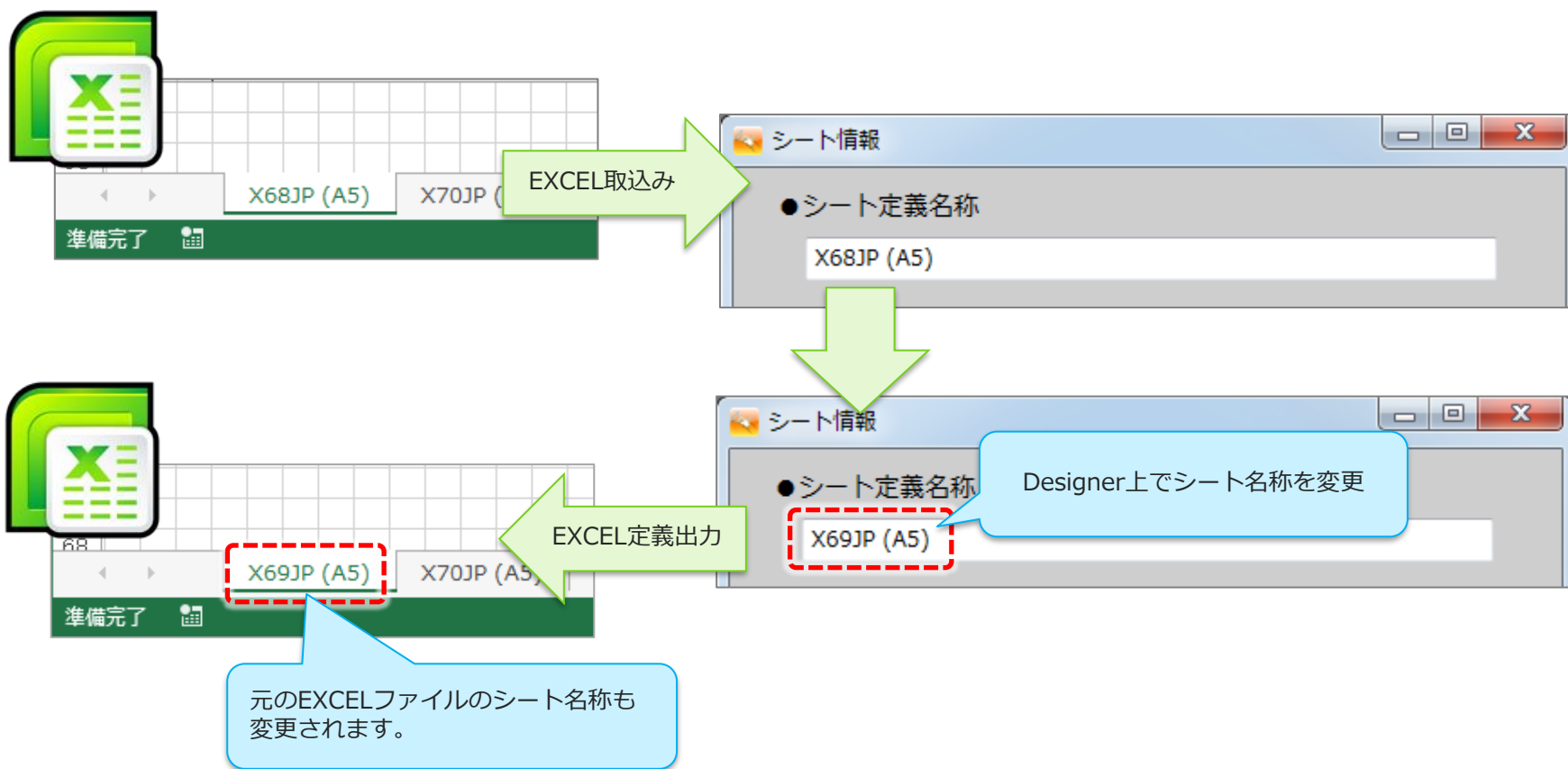
タブレット上でのシートコピー機
能を可能とするか不可とするか設
定します。

シートの背景画像を変更します。
EXCELから取込みした場合は変
更不可となります。

シート情報画面からEXCELファイルのシート名称変更

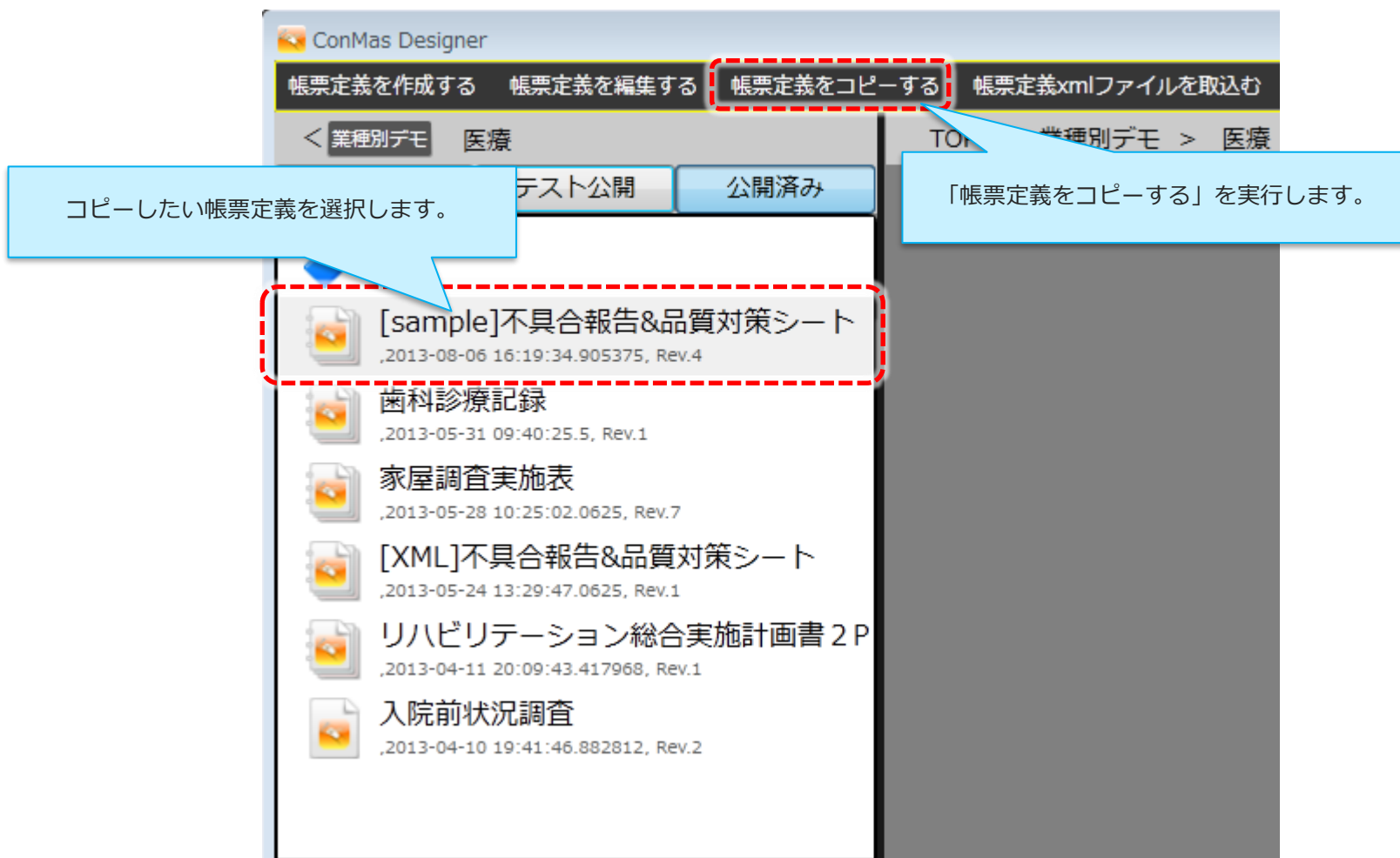
- EXCELファイルから帳票定義を作成した場合、シート情報画面でシート定義名称を変更すると、EXCELファイル出力時のシート名称も変更されます。EXCELファイルのシート名称を変更したい場合はこちらの画面から変更を行ってください。

Designer Ver.4.2.4866 以降で利用できます。



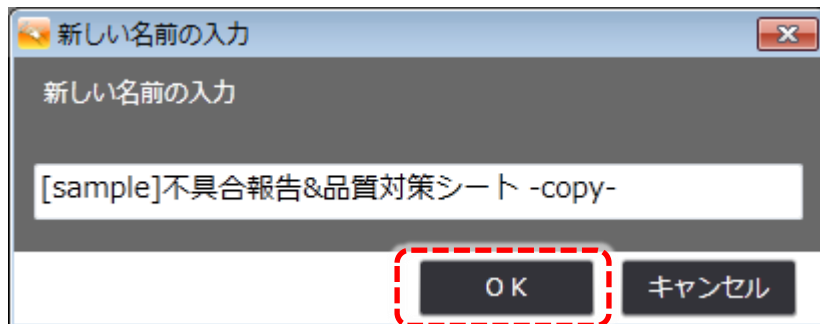
帳票定義をコピーする

- 既存の帳票定義をコピーし、それを元に帳票定義を新規作成することができます。

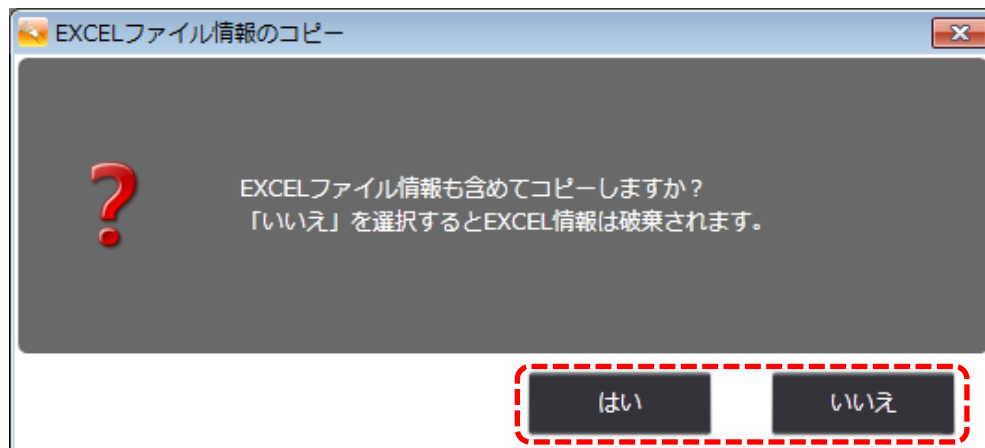


帳票定義をコピーする

- コピー後の新しい帳票定義名称を入力して[OK]ボタンをクリックします。



- コピー元となる帳票定義がEXCELファイルから作成されていた場合に、帳票定義の持つEXCEL情報もコピーするかどうかの確認メッセージが表示されます。
- ここで、[はい]を選択するとEXCEL情報もコピーされ、[いいえ]を選択するとEXCEL情報はコピーされず破棄されます。



帳票定義をコピーする

- コピーした帳票定義の編集画面に移動します。
- 「保存する」「公開する」「テストする」のいずれかで新規帳票定義として保存できます。

The screenshot shows the 'Designer' menu at the top of the software interface. A red dashed box highlights the '保存する' (Save), '公開する' (Publish), and 'テストする' (Test) options. A blue callout box points to these options with the text 「保存する」「公開する」「テストする」. Another blue callout box points to the main editing area with the text コピーした帳票定義の編集画面. The main editing area displays a form for 'ConMas i-Reporter' with various fields and a table for '不具合内容' (Defect Content).

「保存する」「公開する」「テストする」

コピーした帳票定義の編集画面

不具合内容					
発生日時	発生日	発生時刻	発見場所	発見場所	
LOT#	LOT#	加工時間	加工時間	不具合品数量	不具合品数値

Index	名前	種別	iPhone表示順	iPhone表示	入力パラメーター
0	クラスター-0	時刻	0	1	Required=0;AutoInput=2;FirstOnly=
1	作成日	年月日	1	1	Required=1;AutoInput=0;FirstOnly=
2	部署名	単一選択	2	1	Required=1;Default=0;Display=Labe
3	作成者	単一選択	3	1	Required=0;Default=0;Display=Labe
4	製造工場	単一選択	4	1	Required=1;Default=0;Display=Labe
5	図面NO	キーボードテキスト	5	1	Required=1;Lines=1;InputRestrictio